

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 3月 1日

事業所名 スタジオそら祐天寺

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	0	ご利用人数に合わせて活動内容や活動スペースを調整しています。	今後も十分な活動スペースを確保できるよう配慮していきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	6	0	割り振りを工夫し、原則個別体制、必要に応じて補助をつけ2名体制にしています。	人員配置基準を満たしています。スタッフの配置などを工夫し、より安全管理に努めています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	0	6	療育スペースは分かりやすい構造になっています。2階の玄関までは階段があるため、必要に応じて階段昇降の付き添いを行っています。	安心・安全にご利用いただけるよう、必要に応じて階段昇降の付き添いを行います。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	0	清掃、アルコール消毒、換気を随時行っています。	常に子どもたちや保護者の方々の視点到に立ち、安心して過ごしていただける環境を維持していきます。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	6	0	日々の療育の振り返りと会議を行い、全員で目標設定や振り返りを行っています。	今後も継続していきます。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	6	0	保護者向け評価アンケートを実施し、要望や意向等を把握し、できることから改善しています。	今後も継続していきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	各評価表を毎年ホームページで公開しています。	今後も継続していきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		第三者による外部評価は受けておりません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	研修の他、日々の話し合いやOJTにより、資質の向上を図っています。	今後も研修やOJTの実施により、資質や専門性の向上に努めます。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	療育士が意見を出し合い、子どもの課題や目標を設定しています。その後保護者からニーズをお聞きし、支援計画を作成しています。	今後も子どものアセスメントを丁寧に行い、ニーズも取り入れながら支援計画を作成します。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	社内で作成した標準化されたアセスメントツールを使用しています。	今後も継続していきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	主に「発達支援」において、具体的な支援内容を設定しています。	「家族支援」「地域支援」は、現在の支援計画には項目として取り入れておりません。子どもの支援計画とは別に、相談や助言等によって家族支援を行っています。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	毎回、計画や目標に沿った支援を行っています。	今後も継続していきます。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	朝礼・昼礼・終礼を行い、話し合いながらプログラムを立案しています。	今後も継続していきます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	目標を達成するための方法（プログラム）が固定化しないよう、日々検討しています。	子どもたちが楽しみながら、様々なことに挑戦できるようプログラムを提供していきます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	0	個別活動や集団活動を組み合わせ、子ども一人ひとりに必要な計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	毎日朝礼と昼礼を行い、確認や共有、相談をしています。	今後も継続していきます。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	毎日終礼を行い、支援の振り返りを行っています。	今後も継続していきます。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	サービス提供記録を毎回作成し、支援の検証・改善に繋がっています。	今後も継続していきます。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	6か月に1回のペースでモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	今後も継続していきます。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	児童発達支援管理責任者を中心に参画しています。	今後も継続していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	0	6		現在連携はありませんが、必要に応じて連携した支援を行います。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6		対象児童がいないため該当しません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6		対象児童がいないため該当しません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	ご依頼があった際に、支援内容等の情報共有を行っています。	今後もご依頼があった際や必要に応じて、情報共有を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	ご依頼があった際に、支援内容等の情報共有を行っています。	今後もご依頼があった際や必要に応じて、情報共有を行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	必要に応じて他の専門機関と連携し、研修を受けています。	今後も連携や研修等を通じて、支援ネットワークを構築していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6		現状では、項目のような機会を持つことは検討しておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6		必要に応じて参加を検討します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	主にフィードバック時に子どものことを話し合い、共通理解を深められるよう努めています。	療育士からフィードバックをするだけでなく、保護者からのお話も聞き、スタジオ内で共有し、子どもの理解を深めていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	6	可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を実施しています。	研修を行い、スキルの向上を図り、実施していけるように努めていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	できるだけ理解しやすいように、丁寧な説明を心がけています。	今後も丁寧に説明を行っていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	6か月ごとの支援計画の更新の際に面談を実施し、保護者からのニーズを組み込んだ上で支援計画を完成させ、署名をいただいています。	今後も継続していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	フィードバック時や面談時などに相談をお受けし、助言や支援を行っています。	今後も相談しやすい関係性作りを努め、助言や支援を行っていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		現在は実施しておりません。ご要望や必要に応じて開催を検討します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	児童発達支援管理責任者を中心に相談や申入れに対して、迅速かつ適切な対応を心がけています。	今後も相談や申入れに対して、より具体的な対応を行えるよう努めていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	毎月「そら通信」を各ご家庭に郵送し、ホームページに掲載しています。活動概要や行事予定についてはスタジオ掲示物やメールでお知らせしています。	今後も継続していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	個人情報は鍵がかかるキャビネットの中で保管しています。全会員様にメールを送信する際は送信先をダブルチェックした上で送信しています。	今後も個人情報の取り扱いについては細心の注意を払い、管理していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	丁寧に確認作業を行い、必要に応じて情報が残るよう書面やメールでやり取りをしています。	今後も継続していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	そらコンサートを実施しています。(令和3年度はコロナウイルスの影響により中止)	地域の中での交流の機会を大事にし、開かれた事業運営を目指します。

非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	各マニュアルはファイルに綴じ、待合室に設置しています。療育士には全てのマニュアルの研修を実施し、周知しています。	今後も継続していきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	年に2回（10月と2月）に避難訓練を実施しています。	今後も継続し、避難行動の定着を図ります。また、保護者との確認を密に行っていきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	書面で状況確認を行っています。	今後も継続していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	書面で確認をしています。	水以外の飲食物の提供はありません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	毎日ヒヤリハットの確認と共有を行っています。	今後も継続し、再発防止に努めます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	虐待防止の研修を行っています。	今後も継続していきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	契約時に説明をし、了解を得ています。	今後も継続し、子どもたちの安全を守ります。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。